Creative Enzymes®

マウス由来トランスグルタミナーゼ、再組換え

Cat. No. NATE-1727

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	この酵素は転移酵素のファミリーに属し、特にリンを含む基を転送する酵素（リン酸転移酵素）であり、受容体としてリン酸基を持っています。
用途	組換えマウストランスグルタミナーゼは、非共有結合によって結合された2つの鎖からなるホモ二量体（a2）です。トロンビンとCa2+によってゼイモゲンが活性型（a*2、因子XIIIa）に活性化された後、因子XIIIaはフィブリンユニット間に共有結合ブリッジ（ε-(γ-グルタミル)リジン結合）を形成する触媒として働き、血餅ネットワークの□力性を高めます。その結果得られる架橋フィブリンは不溶性で、溶解に□して抵抗性があります。
別名	トランスグルタミナーゼ; EC 2.3.2.13; 80146-85-6; トランスグルタミナーゼ; ファクター XIIIa; フィブリノリガーゼ; フィブリン安定化因子; グルタミニルペプチド γ-グルタミル転移酵素; ポリアミン トランスグルタミナーゼ; 組織トランスグルタミナーゼ; R-グルタミニルペプチド:アミン γ-グルタミル転移酵素; タンパク質-グルタミン γ-グルタミル転移酵素; TG1

製品情報

種	マウス
由来	昆虫細胞
外□	液体
形態	トランスグルタミナーゼは、10 mM ナトリウムリン酸 pH 8.0、15 mM NaCl に調製されています。サンプルには 50% グリセロールが含まれています。ビオチン化トランスグルタミナーゼは、Ca2+ 依存性の酵素です。
***EC*番号**	EC 2.3.2.13
***CAS*登□番号**	80146-85-6
分子量	83 kDa
純度	> 95%（SDS-PAGEによる視□的評価）
活性	> 750 U/mg [活性は、Lorand et al.によるN,N-ジメチル化カゼインへのトランスグルタミナーゼ触媒によるモノダンシルカダベリンの取り込み後の蛍光□強速度を測定することによって決定されます。Anal. Biochem. 44 (221-231)]。
活性化因子	トロンビンと10 mM Ca2+を加えてトランスグルタミナーゼを活性化します。
単位定義	1 Uは、1 a.u./minの蛍光強度の□加として定義されます（Cary eclipse 蛍光分光光度計、Varian で測定; λex = 332 nm, λem = 500 nm; バンドフィルター = 5 nm; □出器強度 = 600 V; 温度 = 37 °C, アッセイ体積 = 1 ml）。

使用法とパッケージング

包装	50 µg

保管・発送情報

保存方法	作業用アリコットは、-20°C以下で保管してください。繰り返しの凍結と解凍を避けてください。